

令和５年度 第１回西区区政会議 会議録

1 開催日時 令和５年６月１６日（金） １８時００分から１９時３５分

2 開催場所 西区役所４階４０２会議室

3 出席者の氏名

伏見 祐子（委員）、鶴原 正子（委員）、秦 喜代子（委員）、奥川 恵子（委員）、吉田 淳三郎（委員）、平川 優子（委員）、堀内 正敏（委員）、伊達 厚子（委員）、中村 佳世（委員）、細川 清史（委員）、甲斐 純子（委員）、宮地 秀和（委員）、葛目 弘子（委員）、塩濱 晃（委員）、古仲 万代子（委員）、竹下 政稔（委員）、吉野 仁子（委員）、岡田 三佐枝（委員）、江戸 実（委員）、橋本 千鶴（委員）、中山 和子（委員）、安井 博規（委員）、山本 晃道（委員）、蕭 耕偉郎（委員）、三村 浩也（西区長）、村上 光司（西区副区長）、松谷 康男（総務課長）、森本 恵二（事業調整担当課長）、玉置 信行（教育担当課長）、折原 裕之（地域支援課長）、大島 一晃（安全安心きずなづくり担当課長）、西村 悦子（窓口サービス課長）、江川 浩子（保健福祉課長）、真田 理恵（保健主幹）、吉岡 範行（子育て支援担当課長）、山中 一弘（生活支援担当課長）

4 議題

（１）令和４年度区政運営への評価について

（２）今後の区政会議の進め方について

5 議事内容

（森本事業調整担当課長）

皆様本日もお忙しい中お運びいただきましてありがとうございます。

定刻になりましたので、ただいまから令和５年度第１回西区区政会議を開催させていただきます。本日の司会を担当します西区役所事業調整担当課長の森本でございます。

どうぞよろしくお願いします。

まず冒頭お断りですが、5月からコロナの扱いが第5類となっています。それを踏まえて、また本日は会議時間が短く移動の時間も取りにくいことから、この402会議室において全体会とグループ討議を実施させていただきます。

また、本日のグループ討議の議題「今後の区政会議の進め方」につきましては、区政会議委員共通の議題であること、これまであまり接点のなかった委員間でもできるだけお話をいただければと考え、これまでのグループ分けに関わりなくランダムな3つのグループに分けさせていただいています。

もう1点ご報告です。条例の規定により今回で多くの委員の皆様が区政会議をご卒業いただくことになっています。

学識委員の蕭先生もそのうちの1人ですが、蕭先生ご自身の推薦により大阪公立大学大学院文学研究科の川野先生に後任をお任せしたいと考えています。川野先生には次回11月に予定している第2回会議から区政会議にご参加いただく予定ですが、本日の会議には傍聴に来ていただいています。川野先生から一言ごあいさついただきます。

（川野大阪公立大学文学研究科教授）

皆様こんばんは。大阪公立大学文学研究科の川野と申します。よろしくお願いします。

私は文学研究科社会学教室で教えています。社会調査、住民の方たちの意識調査、アンケートとか、お話を聞くということを専門にして学生たちに教えています。私が参加させていただけるのであれば、学生も連れてきて皆さんのお話を聞かせていただけたらなと楽しみにしています。どうぞよろしくお願いします。

（森本事業調整担当課長）

川野先生ありがとうございました。どうぞよろしくお願いします。

それでは本日の出席状況です。神田委員、鈴木委員、山東委員、谷川委員、山内委員、岡野委員の6名から、所用により欠席される旨、ご連絡をいただいています。現在定員30名の2分の1以上が出席されていることから、本会は成立していることを申し

あげます。

議事に入る前にお願いがあります。区政会議は公開が原則となっています。議事作成のため録音させていただいています。また、記録用として職員がカメラ撮影を行いますのでご了承ください。

それでは開会にあたり、三村西区長から挨拶申し上げます。

（三村西区長）

皆さんこんばんは。区長の三村です。本日はお忙しいところ、本年度第1回の区政会議にご参集いただき本当にありがとうございます。

まず、コロナ禍について先ほど事業調整担当課長の森本から話がありましたが、感染法上の分類が第2類から第5類に引き下げになったことで、必要な予防対策も緩和されたという現状もありますので、本会については一堂に会しての会議ということ、この後懇親会も開催させていただくことにしましたので、どうぞよろしく申し上げます。例年、第1回の区政会議は前年度の区政運営についての確認と評価を皆様方にしていただく場になっていますが、今回はそれに加えて「今後の区政会議の進め方」についてもご意見をいただきたいと思いますと思っています。

本市では、皆様方もよくお聞きになられているかもしれませんが、行政と市民とのあり方で、「ニア・イズ・ベター」の考え方を採用しております。これは、「より市民に近いところで行政の意思決定がされるのがより好ましい」という考え方です。この「ニア・イズ・ベター」の考え方にに基づき、区政に対して権限と財源の移譲が一部行われてきているという現状にあります。その「ニア・イズ・ベター」の中核、最も大事にしているのがこの区政会議ということになります。

この間、皆様方には区政会議で本当に真摯に真剣にご議論いただき、さまざまな有効なご提案をいただけてきました。私としても、本当に感謝すると同時に、この区政会議をもっと有意義な形にしていきたいと思っている次第です。例えば、議題設定や会議の運営などに、皆様方のご意見を取り入れて運営してまいりたいと思いますし、区

役所からの提案、議題の提起だけではなくて、皆様方でこのようなことを話し合っ
て欲しいという提案もいただきながら、皆さんご自身でご議論いただき区政に反映して
いくというような形にしていきたいと思っています。皆様方に参画いただいて区政が
成り立っていると、このような基盤になる会議にしていきたいと思っています。

本日は、2年の任期を終えて今日が最後となる委員の方々もいらっしゃると思います。
私たちは非常に残念に思いますが、後輩の皆さんに今までのご経験をぜひ残してい
ただけたらと思っています。

それでは、本日も活発にご議論いただきますようどうぞよろしくお願いします。

（森本事業調整担当課長）

それでは本日の資料を確認させていただきます。まず、会議次第。続いて、「資料1 令
和5年度第1回区政会議事前意見への回答」「資料2-1 運営方針自己評価につい
て区政会議委員の皆様からいただいた評価まとめ」「資料2-2 令和4年度西区運
営方針の本体」です。それから、本日のメインの議題となりますが「資料3 今後の
区政会議の進め方について」「資料4 令和4年度第2回西区教育会議資料」です。以
上資料はそろっていますか。

それでは、ここからは蕭議長に進行をお願いします。

（蕭議長）

それでは、本日は、前年度の区政運営に対しての評価に加えて、区政会議の今後の進
め方について区政会議委員の皆さんに議論していただこうと考えています。

先ほどもご案内があったとおりですが、今年は区政会議委員の改選の年になっていま
すので、長年お勤めになられた委員の皆さんが多数いらっしゃると思いますので、今
後に向けて、これからのよりよい区政会議に向けて、皆さんのこれまでの経験を生か
して、議論していただければと考えています。

今日はこの後懇親会も予定されていますので、いつもより若干時間は短めに設定をさ
せていただいて、午後7時30分の終了をめざして、議論してまいりたいと思いますの

で皆さんよろしく申し上げます。

それでは、早速ですがお手元の次第に沿って進めて参りたいと思います。

まず、次第の3 本日の区政会議実施に際して事前に委員の皆さんからいただいた意見について、まず区役所から説明をお願いしたいと思います。

（森本事業調整担当課長）

それでは、会議実施にあたり事前にいただいたご意見及びそれに対する区役所の回答についてご説明します。

資料1をご覧ください。真ん中から左側がいただいたご意見、右側がそれに対する区役所の回答となっています。まず、1点目の左側ですが、令和6年に予定している西区全域の防災訓練もにらみ、多数の区民に参加いただける訓練の仕組みを検討すべきとのご指摘です。右側の回答です。大阪市地域防災計画で地域の防災訓練については、①にあるとおり、自主防災組織等が中心となり、市民等の自らの発意により企画、実施ができる体制の推進を目的に行うものと定めています。今回のご意見はこういった考えと同趣旨で、自主防災組織と区役所の双方が訓練の周知に努め、より多くの方にご参加いただけるよう取り組んでまいります。

続いて2点目です。町会費が地域活動の源であることをしっかり伝える必要があること。また、町会加入率100%をめざす必要があるとのご指摘です。右側の回答です。

町会加入の取組みは、町会や連合振興町会が主体ですが、区役所としても地域振興会発行の「くらしと町会」の配布協力や広報紙「かぜ」などを活用して、町会費で運営されている活動の紹介などを行っています。また、ポスター、リーフレット、ティッシュ、のぼり旗などを作成し、町会加入促進のPRにも努めています。

3点目は、街頭犯罪発生件数が前年より97件増えていることについて、自転車盗難が増えたためかとのご質問、そして市民ボランティア、NPO、企業などとともに、新たな取組みを考えていけないかとのご提案です。右側の回答です。増加した97件のうち63件が自転車盗です。犯罪件数の約8割を占める自転車盗の件数を減らすことが

重要と考えています。発生場所が駐輪場など、違法駐輪でない自転車盗も多数あることから、二重ロックの啓発や、店舗やマンションでの啓発ポスター掲示場所の拡大を図ってまいります。委員ご指摘の新しい取組みについても、皆様からのご意見をいただきながら取り組んでいきます。

4点目は、にしー広場の開催場所をマンションに限定せず、会館や近隣の企業、NPOなど、間口を広げて協力が得られやすいところから試験的に開催してみてもどうかのご提案です。右側の回答です。マンションに限定せずに、というご提案ですが、参加対象をマンション住民に限定せず公園で開催する「公園版にしー広場」を既に実施しており、令和5年度も5回を予定しています。

最後5点目は、PTA、社会教育関係団体学習支援事業とはどのような事業であるのか知りたいとのご質問、加えて、子どもたちの居場所を学校内や近隣に設定できないかのご提案です。右側の回答です。PTA、社会教育関係団体対象学習会支援事業は、PTAをはじめとする社会教育関係団体が、地域において学習会などを実施する場合に、区役所が講師謝礼金の一部を負担する事業です。

子どもへの支援については、「こどもサポートネット事業」や「スクールソーシャルワーカー派遣事業」など、区役所と学校が連携したサポート、またこども食堂など、地域の社会資源につなげる福祉的な取組みを行っています。加えて、小中学校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒及び保護者からの相談を受けていますが、令和5年度からはヤングケアラー支援のために、スクールカウンセラーの配置数を増やしています。さらに、全小学校区に少なくとも1つのこどもの居場所を開設するという方針のもと、開設済みとなっている4小学校区に続き、新たに4小学校区について今年度運営事業者を募集する予定となっています。説明は以上です。

（蕭議長）

今の説明についてご質問などありますか。

ないようでしたら、もし、後でご質問やご意見があれば、森本課長までご連絡をお願い

いします。

続いて、次第の４の議題に進んでまいります。

１つ目が区政運営の評価についてです。これは、令和４年度運営方針に基づく区政運営としてどのように取り組んだのかを、区政会議委員の皆様に検証していただいた結果になりますが、事前に委員からいただいた評価を踏まえて資料２にまとめていますので、区役所から説明をよろしく申し上げます。

（森本事業調整担当課長）

令和４年度１年間の西区政に対する区政会議委員の評価についてご説明を申し上げます。「資料２－１ 区政会議委員の皆様からいただいた評価まとめ」をご覧ください。令和４年度の区役所の取組みについて、区役所としてあらかじめ設定した数値目標が達成できたのか否かを事前に資料として委員にお示しし、その数値も踏まえて本日の会議に先立って皆様に評価をいただいています。資料２－１は、皆様お一人おひとりの評価を１枚の表にまとめたものです。最初に一番下の欄、全体の総括としての評価をご覧ください。23名からいただいた回答のうち、9名が評価できる、14名がやや評価できるとのお答えで、否定的な評価はありませんでした。ただし、戦略別に見た場合、厳しい評価をいただいたものもあります。表の左端に記載の戦略ごとに見た場合、否定的な評価が多かった４つの戦略について、その内容と対応について簡単にご説明します。

まず、戦略１－１ 人と人のつながりづくりの活動支援です。身近な地域でのつながりを肯定的に感じるアンケート回答者の割合が３８％以上という目標に対し、実績は３０．４％となり、４名の委員から「あまり評価できない」、１名からは「評価できない」との結果をいただいています。新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動が戻りつつあるものの、「身近なつながりづくり」や「地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じている」区民アンケート回答者の割合は、目標値に至っていないとの評価となっています。引き続き若い世代への取組みの促進、地域活動の重要性

の理解促進に取り組んでまいります。

2点目は、戦略2-1 災害に強いまちづくりです。14地域すべてで自主防災組織による訓練を実施する目標を掲げていましたが、実績は10地域となりました。

6名の委員から「あまり評価できない」、1名からは「評価できない」との結果をいただいています。これはコロナ禍の感染拡大防止の観点から、訓練の実施に至らない地域があったことが原因と考えています。今後は、感染状況が低下している時期に訓練を行うなど、フレキシブルな対応を提案してまいります。

3点目は、戦略2-2 安全で快適な居住環境づくりです。区内街頭犯罪件数の前年度からの減を目標としていましたが、逆に97件、20%近い増となっており、12名の委員から「あまり評価できない」との結果をいただいています。この間、継続して減少してきた自転車盗ですが、昨年度は反転して増加しています。警察など関連機関と連携して、盗難多発エリアへの重点的な啓発活動を実施します。

4点目は、戦略4-2 さらに区民サービスの向上です。ここでは、区の情報発信についての区民満足度を評価指標にしています。昨年度の目標数値は達成したものの、6名の委員から「あまり評価できない」との厳しい結果をいただいています。区役所に対してもっと頑張れというご期待をいただいたものと受けとめています。本年度は、区長直轄の動画SNSの発信チームを若手職員中心に区横断的に設置することとしています。このチームを活用して、区役所情報発信の充実を図り、ご期待にこたえてまいりたいと考えています。私の説明は以上です。

（蕭議長）

今の説明について、ご質問やご意見はございますか。こちらでも議論したいご意見があれば、この後のグループ討議で進めていただければと思います。また、疑問点があれば、森本課長にご連絡をいただければと思います。

それでは、続いて、「これからの区政会議の進め方について」です。区政会議は皆さんご承知のとおり、区民の多様な意見を区政に反映させるための仕組みで、条例にも定

められています。今まで私が参加させていただいたこの４年間で、微調整はありましたが、基本的に大きな進め方として変化はない状況ですので、今後のよりよい区政会議の運営にも向けて区政会議委員の皆さんに議論していただければと思います。今日の具体的な議論の進め方について、森本課長から説明をお願いします。

（森本事業調整担当課長）

冒頭、区長から、また今の蕭議長からもありましたとおり、区政会議の運営について、区政会議委員ご自身が議論しがいがある、または、議論しやすいとすることができる環境を整えることが、区役所として重要と考えています。本日、「今後の区政会議の進め方」という議題のもと、お手元の資料３に記載しました事項をもとに、委員として、より議論しやすい区政会議の実現に向けてご意見をいただければと考えています。それでは、資料３をご覧ください。ご意見をいただきたい項目を「１ 区政会議の委員構成について」と、「２ その他の事項について」の大きく二つに分けています。

まず、１の区政会議の委員構成ですが、今回の委員改選にあわせて区政会議の委員構成の変更について区役所としての案をお示ししたものです。現行の区政会議は、地域活動協議会または地域振興会から各２名で１４地域から計２８名、公募委員４名と学識委員１名をあわせて計３３名となっています。この間、この区政会議においても、例えば、教育・子育ての議論をするのであれば当事者である子育て世代にもっと参加してもらおうべきというご意見もありました。また、各町会においても、担い手の確保に苦慮されている状況があり、役員の皆様が重複して役割を分担されている中、区政会議への参加のご負担を少しでも軽減させていただきたいという思いも、区役所としてはあります。くわえて、三村区政では、地域の皆様はもとより、その他ＮＰＯなどでボランティアに関わっている皆様や企業の皆様方にも区政に参画をいただきたいと考えており、広く公募委員を募りたいと考えています。以上のことから、今回ご提示の案は、地域推薦委員を各地域１名の計１４名、公募委員を現行の４名から大幅に増やして１０名、そして学識委員に参加いただき計２５名の構成としています。区役所としては、

基本的にこの案で進めたいと考えていますが、グループ討議で皆様方のご意見をいただきたいと考えています。

次に２番目の「その他の事項について」ですが、ここでは区役所の腹案はありません。グループ討議で進行担当の課長から、グループ分けや開催日程など、項目ごとにご意見をお伺いしますので、皆様にとって参加しやすい会議という観点で広くご意見をお願いします。最後にグループ分けについてご留意いただきたい点があります。

現行のグループの１つに教育・子育てグループがあります。このうち、教育に関わる部分ですが、西区教育会議という学校協議会を代表する委員から区内の教育に関する計画や成果の評価について意見をいただく組織があります。区政会議においても、教育に関するご意見をいただきたいのですが、区の教育に関する区民からのご意見は、区政会議だけではなく教育会議からもいただき、トータルで施策形成の参考にさせていただいていることを申し添えます。説明は以上です。

（蕭議長）

ありがとうございます。それでは、今の説明を踏まえて皆様が着席されているテーブルにて議論を開始してください。大体 35 分間、議論をしていただきますようよろしくお願いします。

＝一旦中断＝

（蕭議長）

それでは再開させていただきます。各班からの議論の結果について共有をしていただきたいと思います。それでは、第１班からお願いします。

（江川保健福祉課長）

保健福祉課長の江川です。１班で出された意見についてご報告します。

まず、１つ目の区政会議の委員構成についての区からの提案についてですが、特段の

ご異議はありませんでしたが、なかなか出席がかなわない委員もいらっしゃるだろうから、代理出席ができる仕組みはどうかというご提案がありました。次に、2つ目のグループ分けについては、区役所の考え方ところで運営方針の中で、「広報・窓口改革・ICT」というグループが出来ていることについて、新しい住民、若い世代が増えてきている中で、その地域コミュニティでどのような活動がなされているかが伝わりにくい状況にもある。広報紙を新聞折込みにしても、新聞を購読していない方も多いため、SNSでの情報発信が非常に役割を果たせるのではないかという話がありました。また、そのようなことを地域にも出前講座のような形で展開できたらいいのではないかというお話もありました。また、これからの委員を25名定員にするならば4グループに分けると1グループあたり大体6名ぐらいになるので、区政委員として参加するにあたっては、連合の中で出されたいろいろな意見を持ち寄って、自分がその代表者のような形で、意見を吸い上げて話ができたらいいなとお感じになられている委員もいました。できればグループ分けされたところでしか意見を言えないのではなくて、例えば、防犯・コミュニティに所属しているが、子育てのことで地域からこのような意見を聞いてきたということが言える「全体共有会」のような形がとればいいのかというお話もありました。その次の区政会議の開催回数や日程については、出席しやすい時間については今後、委員になられる方に、アンケートをとって決めてもいいのではないかという話がありました。今日、ご参加の委員の皆さんの中で、実は第3金曜日は、とある活動が決まっているものがあるのだが、そのように固定した地域活動であらかじめ日程が分かっているものがあればその日を外してもらえるとありがたいので、委員に聞いてもらうといいのではないかという話がありました。また、年3回の会議開催については適当かとは思いますが、1回あたり2時間では非常に限られた時間の中で議論することとなる。今日も運営方針の結果について報告がありましたが、途中段階での進捗状況の報告があれば、結果がどうだったかの前に対策について相談できたり、いろいろな手だてが打てるのではないかという話もあり

ました。次に資料については、字が小さ過ぎるということ、テーマをもう少し絞ったり、論点を整理したようなものにしてはどうか、というご意見がありました。また、資料は事前送付していただくのはありがたいが、当日会場に来て同じ資料をもらったり、勉強会に出たらまた同じ資料が配付されるということがあり、いついただいたものか、どの資料の差替えかが分からないというお話もありました。もし、時点修正されたのであれば発行日時を記したり、事前配付資料を持ってくるように委員に依頼し、差替えになった箇所が分かるように示してもらえばいいのではないかとのお話がありました。会議運営の方法については、今の形式で良いのではないかとということです。議題については、地域課題のようなものをその地域から推薦の委員が、議題提起をして、話ができる場面があってもいいのではないかとのお話がありました。

（蕭議長）

ありがとうございます。続いて第2班からお願いしたいと思います。

（吉岡子育て支援担当課長）

子育て支援担当課長の吉岡です。2班の報告をさせていただきます。

まず、区政会議の委員構成についてですが、区役所が提示している案、特に公募委員を増やすということについて、皆さんから肯定的なご意見をいただいています。一方で、公募委員が増えると偏った意見になることもあるのではないかとという懸念もいただいています。ただし、それも含めて幅広い特に若い人や学生の方も含めた形でいろいろな年齢層から参加していただくと、さまざまな意見をいただけるのではないかとということです。次に、グループ分けの件ですが、グループ分けした方が議論は進みやすいということ、また、具体的な例では25名であれば3グループに分かれ1グループは8名となり少し意見が出にくいので、4グループに分けて6名ぐらいであれば意見が出やすいのではないかと意見をいただいています。それから、資料にある区役所の考え方で、「安全安心」というグループでは、防犯・防災・保健・福祉が一つになっているが、一緒にするべきではない、一緒にするのは無理があるという

ご意見と、一方で個別避難計画の関係もありますので、その辺を踏まえると一緒にしたほうがいいと、両方のご意見が出ました。また、グループ分けということを踏まえたうえで、雑談みたいな雰囲気ですくばらんな意見交換ができるような堅苦しくない場であれば、より意見が出やすいのではないかというご意見をいただきました。次に、一番最後の議題に関する意見と重なるので、同時にお話ししますが、現在、区政会議の中で出されるテーマが大きすぎて漠然としているというご意見がありました。例えば、テーマが防災防犯であったとしても、そのうちのここに絞ったとか、もっと分かりやすい、個別具体的なテーマを設定し、また、議論するテーマの前提となるデータを区役所から提示をしたうえで、もう少し具体的な議論ができればいいのではというご意見です。議題のところと重なりますが、グループ分けをするのが前提ですが、例えば、子育て・教育のグループに入った方は、子育てと教育の議論にしか参加できないということがありますので、共通のテーマを全てのグループで議論をしてはどうかと。時間を区切りながら、この時間からこの時間までは教育、この時間から防災防犯というよう形で全てのグループで同じテーマについて議論をしてはどうかというご意見をいただきました。それから議論の時間を確保するため、資料は委員にあらかじめ読んでいただき、当日の読みあげはカットしてもいいのではないかというお話がありました。資料については、やはりボリュームがあるのでどうしても読みきれないという意見がありました。

（蕭議長）

では、最後に第3班からお願いします。

（玉置教育担当課長）

教育担当課長玉置です。第3班です。

まず、1の1)の委員構成ですが、公募委員を増やしていくことについては皆さん賛成であり、町会員以外の方の割合の方が高い状況の中、町会以外の方が参加されることにより意見を伺うことができるということで肯定的な受けでございました。その他、

公募委員の要件として例えば思い切って大学生の参加も可能であるという思い切った取組みもあっていいのではないかとというご意見もありました。

次に、２の１）のグループ分けについてですが、グループ分けは必要だというご意見でした。ただし、どれぐらいのテーマに分けていくのかについては、吟味が必要ではないかということでした。それから、４年間同じグループに所属していたが、別のテーマのグループに参加することができていいのではないかとというご意見もいただきました。次に、２）の区政会議の開催手法に関することですが、年３回が適当ではないかとのことでした。開催時間については、若い方に参加していただくとするならば、次期メンバーの方でどの時間帯がいいかを決めていただくのがよいとのご意見でした。

勉強会については、否定的なご意見を多くいただきましたが、これから公募委員が増えるならば、事前勉強会があるのもいいのではないかとというご意見もありました。続いて、３）資料についてはやはり文字が小さいので、少し大きく工夫してできないかというご意見があり、１ヶ月前を目途に送付されることについては、肯定的な評価をいただきました。次に、４）会議の運営については、これまでどおりでいいとのことでした。最後に、５）議題についてですが、皆様から町会加入率の向上が一番大きな課題であり、現実問題として、町会非加入の方に加入のお声掛けをしても、なかなか賛同いただけない状況があり町会加入がテーマとしては大きく議論になりました。

また、次期メンバーの方にも考えていただいたらいいのではないかとというご意見でした。

（蕭議長）

たくさんのご意見ありがとうございました。それでは、ただいまのグループからの発表または今日の会議全体を通して、ご意見、ご質問はありますか。

（中山委員）

今の報告の中で、最後に町会加入のことで、話が盛りあがりましたので一言お話しさ

せていただきます。私が住むマンションは町会加入しているので、自分で何かを書いたり、手続きをすることがありません。町会に入られない方の中には、もしかすると町会加入の手続きの方法やどこに行けばできるのかが分からず、加入されない方も多いのではないかと思います。それがもっと分かりやすく、例えば皆さんが持っているスマホで簡単に加入手続きができて P a y P a y (などキャッシュレス決済)で支払いができると、もっと若い人は加入しやすいのではないかと思います。

(蕭議長)

中山委員ありがとうございます。他にご意見とかご質問とかありますか。もし、他にないようでしたら、改めて今日皆さんで議論していただいた論点を整理させていただきたいと思います。

今日は、主に今後の区政会議の進め方について議論をしていただきましたが、まず議員構成の案については、区役所から提示があった公募委員を増やす方向性について皆さん、概ね肯定的にとらえていただいているかと思います。その一方で、今までは地域の推薦委員が各地域2名という形だったので、出席率の観点から今後は各地域から1名という形になると、きちんと各地域の意見を反映できるよう、きちんと出席いただくことが大事ではないかなという話がありました。それから、公募委員が増えることにも関連しますが、どんどん新しい層、幅広い層、特に若い人、先ほどもお話があった大学生や中学生であるとか、そのような層のご意見もきちんと取り入れることは重要ではないかというように、多く議論されたかと思います。

続いて、グループ分けについては、そもそもグループ分けの意図としては、最初の区政会議ではなかなか皆さんから意見を出していただけなかったという状況があり、グループ分けしたほうが良いと経緯があったと思います。したがって、皆さんもこのグループ分けについては、前向きにとらえていただいているというように思っていますが、特に去年から新しくできた「広報・ICT・窓口改革グループ」については、これからの時代には若い世代向けの情報発信としては重要ではないかというご意見もあ

ったと思います。それから、基本的に今回の資料で記された運営方針の4項目に対応したグループ分けがいいのではないかというご意見が多く聞かれましたが、一方で、防災・防犯と保健・福祉を分けた方がいいというようなご意見もあったと思います。それから、特に、抽象的な議論というより具体的な話、地域の中での困りごとのような事例を出しながら議論する方がいいのではないかというご意見もあったと思いますので、今後は大きくは4つのグループに分けつつ、分科会みたいな形でそのグループの中でさらに細かいテーマについて議論していくような分科会を設けてもいいのではないかと思います。それから、特に多くの班で共通したご意見としては、今まではグループを固定しているので、自分がずっと参加しているグループ以外の議論にはなかなか参加できないということだったと思いますので、特に自分の地域を代表して、「自分の地域では教育に関してはこういう課題があった」とか「福祉に関してはこういう課題があった」みたいな地域を代表して、他のグループのテーマに対しても意見を言えるように、グループを横断した議論の場を設けてもいいのではないかという話もあったと思います。

次に、区政会議の開催回数と日程についてですが、概ね年3回という頻度は皆さんから評価いただいていると思います。一方で、資料の説明時間が長いとか、議論の時間が2時間だと全体的に短いというご意見もあったと思いますので、もし皆さんにご協力いただけるようであれば少し時間を延ばしたり、説明の時間を減らしてその分事前に皆さんで資料を精読していただければと考えています。時間帯についてはこれから公募委員を増やすにあたって、アンケートをとり、特に大学生のような方が参加できるようであれば、きちんと皆さんのご都合のよい時間帯、特に町会の中で固定のイベントがあると思いますので、用事がある曜日や時間帯を避けて日程設定していただければと考えています。

勉強会についても、事前に実施しておくという議論もより効率的に進められるという意見もありましたが、その分、皆さんに貴重な時間を割いていただく必要があると思いま

すので、各町会それから委員同士で無理のない範囲で調整していただきたいと考えています。

資料についてですが、資料の字が小さかったり、私も何回も資料をいただきますが、S D G s の観点から良くない部分があると思いますので、これからは資料については差替え分だけ配付する、日付を明記するなどしていただくと、いつの資料でどこが変わったのかを皆さんに分かるようにしていただければいいかと思います。私もいつも読んでいてなかなか要点が分かりづらいところが多く感じられるので、もう少し要旨を簡単にまとめていただきA4版1枚ぐらいの資料があればいいと思うこともありました。

それから、会議の運営については、基本的に今までどおりの運営方法でいいのではないかと皆さんから意見をいただきましたので、今後も基本的にこのようなグループ形式で議論を進めていくのがよいと思いますが、先ほど議論があったとおりグルーピングする際のテーマをどのように設定するのかというところは、もう少し検討する余地はあると思います。進め方としては今までの軸足を踏まえて進めていただければと考えています。

最後の議題です。これまでの懸案であった町会加入についてですが、やはり町会自体があまり変化に対応できていないところがあると思うので、先ほど中山委員からも同じお話があったとおりですが、町会費をP a y P a y みたいな電子決済できる仕組みを導入すると、若い世代も加入しやすいのではないかと思います。もちろん町会加入の課題のみならず、先ほども申しあげたとおり、まずはそれぞれの地域でいろいろな困りごとがあったり、実際に現場でいろいろな課題が起きている中で、その課題を克服するために、この区政会議の俎上に載せることによって、地域の課題解決につながる議論の場としてこれからぜひ活用していただければいいかと思います。

今までの区政会議はどちらかというと区政運営もそうですが、この町会加入が大きな命題であったと思いますので、これから公募委員が増えることによって、公募委員が

そもそもこの西区の中のどのような課題に関心があるのかというところをもう少し、公募委員の方たちの関心も踏まえて、これからの議題を設定していただければいいかと考えています。以上になります。

まだ皆さんいろいろと議論したいことはあるかと思いますが、時間の関係もありますので、最後に次第の5 その他として令和4年度第2回教育会議について報告をお願いしたいと思います。

（玉置教育担当課長）

教育担当課長玉置です。資料4について2月17日開催の教育会議の概略を報告させていただきます。ページ番号1をご覧ください。令和5年度西区予算として、中学生向けの英語検定受験料の一部を区役所が補助します子どもの英語力向上支援事業、夏期講習としての民間事業者を活用した課外学習事業、小学生向けに子どもの体力・運動能力向上支援事業を計上しています。ページ番号2では、引き続き生涯学習、学校体育施設開放事業などを実施してまいります。ページ番号3では、ヤングケアラー支援にも対応していけるように、令和5年度から週当たり6時間のスクールカウンセラーを新たに1名増員としていることを説明しています。また、ページ番号4では児童生徒の急増対策として、この間校舎の増築工事をしてしていますが、その進捗スケジュールについて報告しました。

その他としましては、令和4年10月に開催した市長と教育委員による総合教育会議の議題となりました。学校園における働き方改革への本市の取組みについてですが、この中で主な意見は大きく2点ありました。

まず、教員の働き改革についてですが、労働時間が過労死レベルに至っている教員もいる中で、教員の負担軽減としてサポートする人材、部活動指導員の配置を進めているということですが、きちんと配置されているのかというご意見がありました。これに対しては、人材不足であることや、産休育休教員の代替教員を見つけることが大変厳しい状況であるけれども、仕事にメリハリをつけるなど難しい課題ではあるが、で

きる限りのサポートや工夫を考えていくと学校や区役所から回答しました。

その他２点目としては、民間活用による夏期講習への参加生徒が少ないことについてご意見があり、これに対しては事業者決定のスケジュールを早め、チラシの周知も早める旨、回答をしました。なお、児童生徒の欠席連絡をアプリによりデータ管理を行う、あるいは、テストの答案を読取る自動採点支援システムの導入検討についても報告をしました。以上、報告とさせていただきます。

（蕭議長）

今の報告について何かご質問やご意見はありますか。大丈夫ですね。それでは、時間となりましたので、このあたりで会議を終了させていただきたいと思います。

（森本事業調整担当課長）

蕭議長、議事進行ありがとうございました。

本日は活発な意見交換の議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。まだまだご意見を伺って参りたいところですが、最後に、三村区長から挨拶申し上げます。

（三村西区長）

本日は、遅い時間にはお集まりいただき本当に活発にご議論いただきましてありがとうございました。３つのグループをそれぞれ回らせていただいたのですが、どのグループも本当に熱心にご議論いただき有益なご意見をいただきました。本当にありがとうございました。

今回、区政会議の進め方を中心にご議論いただきました。区政会議は毎回開催前に課長以上が集まっていろいろ議論しています。どのようにすれば効率的に進むか、有益なご意見をいただけるか、という議論をしてきました。

その中で、グループ討議で全体像がうまく伝わっておらず、どうしても個別の議論に特化してしまうということもありましたので、勉強会を開催し全体像を理解していただくとか、または、議論がまとまらなかったりするので、区役所職員のファシリテ

ートをもう少しうまくやる必要があるという意見がありました。そのため事前勉強会、ファシリテートの勉強会を行うなどしてこの区政会議に備えてきました。そのように取り組んできましたが、まだまだ何か足りないということで今回は皆さんに、直接ご意見をお伺いしよう、ということでこの場を設定させていただきました。

先ほど、蕭先生にもおまとめいただきましたが、本当に有益なご意見をいろいろいただいたので、それらを取り入れて区政運営に反映していきたいと思っています。

少し宣伝も兼ねてとなりますが、私自身、区政会議を本当に大事に思っており、ここでいただいたご意見は極力何らかの形で区政に反映したいと思っています。今までどのようなことを変えてきたのか、ということですが、「広報が少し足りない、施策としていろいろ実施しているのに、区民に伝わっていない」というお話もいただいたので、広報紙の増ページを行ったり、SNSも新しく3月からYouTubeチャンネルを新しく作ったりしました。チャンネル登録数がなかなか増えないのですが、このようなことで手を打ったりしています。あと、江戸委員のご意見かと思いますが、「児童・生徒の活躍をもう少し知らしめて欲しいので、何か表彰できる制度を作ってはどうか」というご意見もいただきました。表彰は少し難しいので、学校が取り上げる活動などを顕彰したり、皆さんに知って欲しい児童生徒を紹介するなどの取組みも今期に入ってやっていこうということで、学校の校長先生方にも同意をいただきました。他には、「SNSに取り組むにあたり、スマホが使えない方が多い」というお話もありましたのでスマホ教室を拡充しよう、ということで今期取り組んでご協力もお願いしています。

この区政会議でいただいたご意見がもととなり、施策に反映したものがこのような形になっています。区政会議でのご意見をどんどん取りあげていきたいと思っています。それから、今回ご議論いただいた中で1点だけ私の考え方をお話させていただくと、公募委員を増やすということを皆さんにご提示させていただきました。多くの皆さんにはご賛同いただいたと認識をしています。これは、町会加入や地域コミュニティの

話とつながりますが、やはり地域がつながっていて欲しいと、この西区 11 万人がどのような形ででもつながっていて欲しいと。そのことが結局、防災や防犯につながり、住みよいまちにつながる、まちの魅力につながると、私の信念みたいなものですが、そのように思っています。町会に入っていない方、そこになかなかつながっていない、つながる機会がない人たちに、やはりそのつながる場、つながる機会を作りたいと。そのつながっていない方も含めて、今町会に入っていない方々のご意見をどのように聞くかという背景で、公募委員の方を増やしていきたいと考えています。町会の方々からすると、その比率が減ることにはなりますが、公募委員の皆さんのご意見をお伺いして施策に反映することにより町会加入率が高くなっていくとか、つながりが強くなっていくとか、こういうことにつなげていきたいというのが私の思いです。ぜひ皆さんにはご理解いただけたらと思っています。

そして、今回で最後の委員の方々がいらっしゃいますが、これからも引き続き是非区政に関わっていただいて、いろいろな場でご活躍いただいている方が多いので、様々なご意見をいただいて、よりよい区政につなげていくために、ぜひ引き続きのご協力をいただければと思います。今日は長時間本当にありがとうございました。

（森本事業調整担当課長）

長時間にわたりご意見ありがとうございました。本日の会議でのご意見やご提案については、できる限り今後の区政会議の進行に生かしてまいります。また本日の会議の内容は西区のホームページで後日公開をいたします。区長からもありましたが本会議をもちまして、多くの委員の皆様が区政会議をご卒業いただきます。何度も区役所にお越しいただき熱心にご討議いただいたことを、担当としても一言お礼申しあげたいと思います。本当にどうもありがとうございました。

最後に時間が押している中、大変恐縮ですが 1 点お願いがあります。お手元のクリアファイルをご確認ください。その中に令和 5 年度区政会議委員アンケートが入っています。記載いただき、返信用封筒で区役所までご送付くださいますようお願い願

いします。既にご記入済みの方は、お帰りの際に区役所職員にお渡しくださいますようお願いいたします。これをもちまして、令和５年度第１回西区区政会議を終了します。どうもありがとうございました。